

かけがわ 市議会だより

第2号

平成17年8月1日

編集／発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷701番地の1

☎0537(21)1160

掛川市ホームページアドレス <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



掛川茶PR in 「愛・地球博」

おもな内容

■6月定例会の概要	2ページ
■審議の結果／議案質疑	3ページ
■一般質問	4ページ
■委員会スナップ	7ページ

7月17日、掛川茶振興協会が「愛・地球博」で、茶摘み体験や冷茶のサービスを行い、掛川茶をPRしました。会場は多くの人でにぎわいました。



6月定例会

平成17年度 予算

総額907億5,051万円を可決

平成17年度 予算

一般会計	448億4,400万円
特別会計（15会計）	308億1,040万円
企業会計（2会計）	150億9,611万円

平成十七年第二回（六月）定例会が、六月七日から三十日までの二十四日間にわたり開催されました。平成十七年度予算関係十八件、条例関係三件、人事関係四件、その他九件、意見書三件、決議一件の合計三十八件が上程され、審議の結果、人事関係一件を除く三十七件が原案のとおり可決、同意されました。なお、陳情一件は継続審査としました。



6月定例会の経過

7日	16日	17日	20日	21日	30日
本会議Ⅱ市長施政方針説明。平成十七年度一般・特別会計予算等各議案の市長提案説明及び補足説明。人事関係議案市長提案説明、採決	本会議Ⅱ一般質問	本会議Ⅱ追加議案提案説明、一般質問	本会議Ⅱ予算関係議案・条例関係議案等質疑、常任委員会付託。一部議案採決	常任委員会Ⅱ付託議案審査	常任委員会Ⅱ付託議案審査 本会議Ⅱ常任委員会委員長報告（平成十七年度予算関係、条例関係議案等）質疑、討論、採決。陳情継続審査。農業委員会委員の推薦。追加議案提案説明、採決。決議、意見書採決。議員派遣採決



議案質疑

○平成十七年度掛川市一般会計予算

問 特定発電所周辺地域振興対策事業費補助金以外に、原発立地における歳入があるのか。また、歳出では、どのような形で原発関連予算が計上されているのか。

答 広報安全対策交付金、公共施設維持基金利子収入、原子力立地給付金が歳入で総額九百七十一万七千円計上されている。歳出は、

電源立地対策費三百七十二万円、道路新設改良事業費四千万円があり、他の特別会計、企業会計にも予算計上されている。

問 平成十八年は大河ドラマの予定がある中で、掛川城入館料減額はなぜか。入館者数の減はなぜか。

答 大河ドラマの影響は現状では未知数であるため、堅実に収入を見込み、収入が増えた時は予算の補正を行う。入館者減は、何回もお城に登る方が少ないこと等が理由と考えられるので、気軽に市民の方に登っていただけるよう無料券

発行を予定している。

○平成十七年度掛川市国民健康保険特別会計予算

問 国保会計による人間ドックの受け入れ先の状況は。市立総合病院以外の医療機関でも計画があるか。

答 二十歳以上の国保加入者を対象に、はがきで受診勧奨を行うこととした。受診率は対象者の二十・五％、三千九百八十六人を見込んでいる。市立総合病院、医療センター、聖隷病院が対象である。

議案の審議結果一覧

〔予算〕

- 平成17年度掛川市一般会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市国民健康保険特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市老人保健特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市介護保険特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市公共用地取得特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市駅周辺施設管理特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市簡易水道特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市公共下水道事業特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市農業集落排水事業特別会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市温泉事業特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度上西郷財産区特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度桜木財産区特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度東山財産区特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度佐束財産区特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度天竜浜名湖鉄道経営助成特別会計予算 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市病院事業会計予算 ……(賛成多数可決)
- 平成17年度掛川市水道事業会計予算 ……(賛成多数可決)

〔条例〕

- 掛川市総合計画審議会条例の制定 ……(全会一致可決)
- 掛川市名誉市民条例の制定 ……(全会一致可決)
- 市長の給料の特例に関する条例の制定 ……(全会一致可決)

〔一般〕

- 東遠学園組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更 ……(全会一致可決)
- 静岡県大井川広域水道企業団を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市営住宅原第2団地建築工事請負契約の締結 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市立西中学校屋内運動場建築主体工事請負契約の締結 ……(全会一致可決)
- 平成17年度掛川市立横須賀小学校屋内運動場建築主体工事請負契約の締結 ……(全会一致可決)
- 町の区域の変更(下俣南二丁目地区) ……(全会一致可決)
- 字の新設及び字の区域の変更(原子地区等) ……(全会一致可決)
- 掛川市道路線の認定 ……(全会一致可決)
- 市有財産の処分 ……(全会一致可決)

〔人事〕

- 掛川市助役の選任
大倉重信 掛川市千浜6132番地 ……(賛成多数同意)
- 掛川市収入役の選任 ……(賛成少数不同意)
- 掛川市固定資産評価員の選任
大倉重信 掛川市千浜6132番地 ……(賛成多数同意)
- 掛川市名誉市民の選定
棟村純一 掛川市上垂木542番地 ……(全会一致同意)

〔陳情〕

- 「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情 ……(継続審査)

〔決議〕

- 「高齢者の交通事故防止に関する決議」 ……(全会一致可決)

〔意見書〕

- 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書」の提出 ……(全会一致可決)
- 「地方議会制度の充実強化に関する意見書」の提出 ……(全会一致可決)
- 「地方分権実現のための三位一体の改革を求める意見書」の提出 ……(全会一致可決)

高齢者の交通事故防止に関する決議

平成16年中に発生した、掛川警察署管内における人身交通事故件数は、前年より9件少ない1,158件、死者数は1人少ない11人と、ともに減少はしているものの、過去最悪であった平成15年中とほぼ同様の件数であり、依然、多発している状況にある。特に、65歳以上の高齢者の交通事故死者数は約3割を占め、誠に憂慮すべき事態となっている。

多くの尊い生命が交通事故で失われていることは誠に残念であり、交通事故のない「安全・安心の交通社会」を実現することは、市民すべての願いである。

今後、高齢社会の進展に伴い、交通事故死者数に占める高齢者の割合はますます高くなっていくことが予想され、高齢者の交通安全対策に重点的に取り組むことが緊要の課題とな

っている。

よって本市議会は、市民一丸となって高齢者の交通事故防止に邁進することを決意するとともに、すべての市民が「やさしさと思いやり」のある安全運転の必要性を今一度思い起こし、「高齢者いたわり運転」の推進が図られるよう強く呼びかける。

また、市当局においても、高齢者交通安全教育の実施、高齢者を守るネットワークづくり、高齢者に配慮した交通安全施設の整備など高齢者の交通事故防止対策に、さらに全力を挙げて取り組むよう求めるものである。

以上、決議する。





12人の議員が質問に立ち、施政方針、
南北幹線道路網計画、総合病院の問題等について問う

◆質問事項は
〈行財政・広域問題〉

・男女共同参画推進条例
・市長選

・施政方針関連
・新市建設計画実現に向けての体制
・人事案件
・新交通システム
・開かれた行政
・新市経営の理念
・健全財政
・どぶ板行政
・市街地循環バス事業
・憲法第九条
・市長及び議員報酬
・人材育成
・ペイオフによる公金管理

(四人)
(二人)

〈商工労・農林問題〉

・産業の育成策

〈建設・土木問題〉

・南北幹線道路網計画
・満水プロジェクトの総合的推進
・(仮称)西部幼保園近辺の道路改善
・下小笠川の漏水

〈教育・福祉問題〉

・少子化・子育て支援の施策
・少子高齢化対策

〈保健・環境問題〉

・乳幼児医療費助成と次世代育成支援
・環境条例と環境基本計画
・掛川市立総合病院問題
(一) 内の数字は同類質問者数

一般質問について詳しくお知りになりたい方は、市役所ホームページの市議会会議録をご覧ください。六月定例会の会議録は、九月月上旬に掲載を予定しています。

南北幹線道路網計画

雑賀祥宣
議員

Q

新市建設の基本方針である南北幹線道路網計画については、市長の施政方針のなかでも「最重点的に取り組むべき課題」とあり、早期の南北融和のために、必要絶対条件と考えるが、その決意を伺う。



通勤ラッシュ時の掛川大東線 (市内板沢)

A

南北縦貫道路は、出来る事業は最大限に取り上げて、これにかかる予算はどんなにつらくてもやる、これが約束であると考えている。また、あわせて、市民や企業に協力を請い、できるだけ早く渋滞を緩和するための方法についても模索している。

戸塚新市政

堀内武治
議員

Q

榛村市政に対峙する戸塚市政とはどのような市政なのか。榛村市政とのかかわりの明確化を求める。継承する理念、事業は何か。また、廃止、見直しするものはどのようなものなのか。

A

榛村市政で行ってきたことをなるべく忠実に路線継承し、財政的な立て直しも含めてやらせていただきたい。一点集中的な大きな事業を行うことは難しく、見直していかなくてはならないと考える。生涯学習はこれからの日本社会に絶対必要であるが、新しい時代に処して考えていかなければならない。年輪の集いについては、参加者が減ってきていること等の理由から、見直しの意見が市民の方からあった。

新生掛川市に対する 市長の政治姿勢

水野 薫
議員

Q

合併により新市が誕生したが、市長の新市に対する夢と理念は。

行政区域が拡大されることで、住民の声が行政に届きにくくなるので

可決された意見書(要旨)

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

現在、三位一体改革の中で、国庫補助負担金の見直しの対象として、義務教育費国庫負担金を取り沙汰されている。義務教育費国庫負担金が税源移譲を伴う一般財源化となった場合、多くの自治体では、税源の偏在性から財源を確保することができず、教育条件に地方格差が生じることは明白である。

よって、国民のすべてに対して教育の機会均等と教育水準の維持向上を保障するために、義務教育費国庫負担制度を堅持することを強く要望する。

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済財政政策担当大臣)

地方議会制度の充実強化に関する意見書

国におかれては、現在、第28次地方制度調査会において「議会のあり方」を審議項目として取り上げ、活発な審議が行われているところであるが、地方議会制度の規制緩和・弾力化はもとより、①議長に議会招集権を付与すること、②委員会にも議案提出権を認めること、③議会に付属機関の設置を可能とすることなど、地方議会の権能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改革が図られるよう強く求める。

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長)

地方分権実現のための三位一体の改革を求める意見書

政府においては、地方六団体の改革案を尊重しつつ、真の地方自治の確立という理念に基づく地方分権改革として、今後、三位一体の改革を推進されるよう強く要望する。

記

- 1 国から地方への税源移譲については、地方が担うべき事務と責任を十分に配慮した上で、地方の自由度を拡大し、自治力を増やすことが可能な規模を確保すること
- 2 国庫補助負担金の見直しについては、地方分権の理念に沿った廃止・縮減を行うとともに地方に財政的な負担転嫁をすることのないよう税源移譲の規模に見合ったものとする
- 3 地方交付税については、地方の行政任務に応じた財源保障及び地方公共団体の財源調整という機能を強化しながら、地方行財政改革を促進する制度とすること
- 4 地方公共団体の意向を十分尊重した平成19年度以降の改革案を早急に示し、地方の行財政運営に支障が生ずることのないよう対応すること

(提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長)

はないか等の不安への対処や新市建設計画を遵守する意味で、地域審議会はいづ設置するのか。

A

市長として、市民のみなさんに健康で長生きをしていただき、幸せを感じるような施策をやらせていただくことが願いである。できる限り健全財政で、後世の人になるべく負担を残さないよう市政を担当していきたい。

地域審議会は、広報等で委員を一部公募する方向であり、八月末頃開催できるよう準備している。

環境資源ギャラリー

竹嶋善彦
議員

Q

長年使用してきた千羽清掃センターの焼却施設を撤去しなければならないが、施設の撤去工事や跡地利用の計画は。また、環境資源ギャラリーでは、焼却施設の試運転が開始されたが、現時点で問題はないか。

A

千羽清掃センターは、平成十八年度と十九年度の二

カ年で解体工事をする予定である。跡地利用については、平成十五年に策定した基本構想をもとに、地元の住民と協議をして、土地活用を図りたい。環境資源ギャラリーの試運転は現在、支障なく行っている。環境の数値は、逐次、報告をしていく。



排出ガス中のダイオキシン類等の測定
(環境資源ギャラリー)

男女共同参画推進条例

桑原百合子
議員

Q

旧掛川市と旧大須賀町で制定された男女共同参画推進条例は失効したが、新市における条例制定の時期はいつか。

条例制定や基本計画を市民に十分理解してもらい、意見を反映させるための方法は。

A

男女共同参画条例は、本年度中に制定し、基本計画については平成十八年度に策定したい。現在広報で条例検討委員会の委員を三名公募しており、委員が決まり次第条例の検討に入りたい。

条例、基本計画それぞれ市民検討委員会を設置する予定である。あわせて本年度市民の意識調査を実施し、市民の意見を反映させていきたい。

新交通システム

内山周則
議員

Q

市内タクシー業者と行政の協働で、交通空白地域に「乗り合いタクシー」を導入する考えはないか。このシステムにより、高齢者の外出機会が多くなり、利用者の生活基盤の確保等のメリットが考えられるがいかがか。

A

「乗り合いタクシー」事業は、低料金で自宅と目的地間を利用できるため、高齢者に配慮したサービスができる等のメリットがあるが、タクシー事業者等の課題もある。地域の実情に適した公共交通システムを提供するために、市内タクシー会社や専門家、行政で組織する(仮称)総合交通体系計画検討会を設け、調査検討を進めていきたい。

掛川市立総合病院 問題

佐藤博俊
議員

Q 市立総合病院の建物は、耐震性の観点からも、建て替える必要と聞くと、その計画は、

ホームドクターとの病診連携を推進していく中で、患者さんや家族の選択をどう尊重するのか。

A 市立総合病院はあと九年程で建て替えるの時期であり、予防センターと病院の新築問題とあわせて、時間をかけて構想を示したい。議会で設置された新・市立総合病院問題特別委員会でも検討をいただきたい。

ホームドクターとの病診連携について市民に広く理解を求めて、医療の機能別を進めることで、皆様によりよい医療が提供できると考える。



掛川市立総合病院

市民の要求を汲み 上げる手段や形態

水谷陽一
議員

Q 市民の要求を汲み上げる手段をどう考えるか。ど

板予算の当初額が、一市二町の合併により、対象面積や保全箇所が増えているのに、旧市の予算と比べても大幅に少なくなっているが、住民要求に応えることができるのか。

A どぶ板予算（地域振興費）は、当初額は旧掛川市予算と比べ減額となっているが、早急に対応しなければならぬ補修には、随時補修を行い、当初予算額以上に費用がかかる場合は、補正予算で対応したい。

今までの、区長から要望するという形だけでなく、新しい手法を検討していきたい。

市街地循環バス事業

驚山喜久
議員

Q バスを走らせる要望は、特別にお年寄りから大変多く聞かれる。大東地区、大須賀地区、掛川市街地外の、バスの運行がない地域からの要求にどう応えていくのか。

市街地循環バスをどう充実させていくか。

A できるだけどこでもバスが走るとは非常に大事なポイントであるが、市の財政負担やタクシー業界の圧迫を指摘する声もあり、いろいろな職種の方や立場の方がいることを考慮していかなくてはならない。



市街地循環バス

障害者福祉

高木敏男
議員

Q こども発達センターめばえの施設が手狭であるが、解決策はあるか。

障害児の社会参加を推進するためにきめの細かな人的配置等、具体策は何を考えているのか。

A めばえの管理責任者である菊川市と共に施設等の問題に当たらないと考



こども発達センターめばえ

乳幼児医療費助成事業と次世代育成支援

戸塚久美子
議員

Q 乳幼児医療費助成における所得制限を撤廃する予算が盛り込まれたが、医療費無料化に向けての予算額の試算と財源確保の見通しは。

子育て支援や少子化対策に多様な展開が必要と考えるが所見を伺う。

る。使われなくなった施設の利用など改善策を考え、最善の努力をしていきたい。

障害をもつていらつしやる方も、社会参加ができるよう協力していかねばならないと考えるし、施設の人的配置もできる限り努力したい。

今回の所得制限の撤廃により、年間約三千四百万円の支出増加を見込んでいる。自己負担金を徴収しない場合は、さらに八千五百万円の財源が必要となる試算である。これについては、子育て支援・少子化対策特別委員会で検討をお願いする。子育て関連施設の確保や人的配置等にかかる費用も、財政の許す限り努力していきたい。

A 財政状況は厳しい状況にあると判断する。最大の背伸びをすることは有りえると思うが、この一、二年については、なかなか積極財政でいきにくい点があるので、出来る限り健全財政を維持しつつ、必要最低限のことはやっていかなければならないと考える。

Q 財政の健全性を保つ努力、極力歳出を抑える工夫が必要なこととは言ってもないが、一方で十分な返済計画に基づいた積極財政により、市の付加価値を高め、税収を増やす方法を考えることも、財政健全化の重要な方向性であると考えて。この点、市長の考えはどうか。

健全財政

東堂陽一
議員

A 今回の所得制限の撤廃により、年間約三千四百万円の支出増加を見込んでいる。自己負担金を徴収しない場合は、さらに八千五百万円の財源が必要となる試算である。これについては、子育て支援・少子化対策特別委員会



委員会 スナップ

7月5日に各常任委員会協議会が開催され、平成17年度の各課の主要事務事業等の概要について報告されました。また7月6日から12日の間には、各常任委員会での市内の現地視察を行いました。

★総務委員会★

7/6 現地視察

- 東大谷水道施設整備事業
- 大須賀三番町第一水源・第二水源
- コーニングジャパン(株)
- 菊川河口
- 下小笠川
- 新エコポリス
- 22世紀の丘公園
- 旧掛川東高校跡地
- 中央消防署
- 竹の丸



下小笠川〈総務委員会〉



新エコポリス〈経済建設委員会〉

★経済建設委員会★

7/11 現地視察

- 県道掛川大東大須賀線
- 農道掛川高瀬線整備事業
- 市道北村線整備事業（大東地区）
- 千浜西市営住宅
- 千浜東海岸砂防工事
- 洋望台土地区画整理事業
- ブラザ大須賀
- 本谷地区農道整備事業
- 森林果樹公園
- 新エコポリス
- 22世紀の丘公園
- 道の駅掛川
- 宮脇第一土地区画整理事業
- 第二東名森・掛川IC周辺

★文教厚生委員会★

7/12 現地視察

- 大日本報徳社
- 環境資源ギャラリー
- 横須賀城跡
- 大須賀浄化センター
- 大須賀中学校
- くにやす苑
- 大東保健センター
- 大東図書・資料館建設予定地
- 市立総合病院



大日本報徳社大講堂修復事業〈文教厚生委員会〉

議会日誌

五月

25日○全国市議会議長会定期総会
(東京)

26日○市議会全員協議会

30日○静岡県地方議会議長連絡協議会(静岡市)

31日○議会運営委員会

六月

1日○太田川原野谷川治水水防組合議会

2日○掛川市選挙管理委員会委員当選証書附与式

七月

7、30日○掛川市議会第二回(六月)定例会

17日○議会だより編集委員会

5日○常任委員会協議会

6日○総務委員会現地視察

7日○議会だより編集委員会

11日○経済建設委員会現地視察

○大井川右岸土地改良区臨時理事会

12日○文教厚生委員会現地視察

○文教厚生委員会協議会

14日○議会だより編集委員会

21日○市議会全員協議会

○子育て支援・少子化対策特別委員会

傍聴席

私は好奇心を持ち、あちこち歩き回るのが好きな人間です。以前から市庁舎の屋根がユニークだと思っていました。四月から掛川市民になり、機会を見つけて中を覗いてみようと考えました。この六月の定例会を傍聴して、屋根の下が議会会議場であると知りました。

さて、傍聴しての感想は「市長・議員・職員の皆さんの顔が見られ、考えを聞くことができ、少し行政が身近になった気がする」というものです。一般質問の初日は、やはり皆さんの関心が高く、傍聴者が多くて中に入らず、テレビでの傍聴でした。市民として市に要

望することはいろいろありますが、傍聴時に気になったり、気に入ったりあれこれ書くこと…議会の日程の広報を欲しい(見逃しているのかも?)、施政方針演説等の要旨が欲しい(まったく手持ちぶさただったので、あつたら良いのにと考えた)。一般質問時には通告要旨が配られた。孤軍奮闘?の市長さんにエール!市庁舎の五段のフロアを斜めに横切る階段傍聴席が議員さん達の後方で同じフロアだったことと議場の天井のデザイン等。

皆さんも、ご多忙でしょうが、是非議場に足を運び、選んだ人たちの活躍を直接ご覧になったら如何でしょうか。

上土万落合 高塚 芳弘

9月定例会の予定

9月

5日 本会議(議案の提案説明)

14日 本会議(一般質問)

15日 本会議(二般質問)

16日 本会議(質疑、二部採決、委員会付託 請願・陳情)

20日 常任委員会

21日 22日 26日 一般・特別企業会計決算特別委員会

4日 10月 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

市議会に関するいろいろな情報は掛川市議会ホームページでもご覧になれます。

どうぞお気軽に、市役所ホームページ
<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>
のトップページよりアクセスしてください。
詳しくは、掛川市議会事務局へ
お問い合わせ下さい。
電話 21-1160

議会だより編集委員を紹介します



議会だより編集委員会が発足しました。6名の委員で、議会だよりの編集を担当します。よろしくお願いします。

編集後記

編集委員会が新しく組織されました。関心をもって読んでもらえる紙面づくりのために、肩に力を入れ検討を重ねましたが、力不足と時間不足で、旧掛川市の流れを引き継いだレイアウトとなりました。次回はもう少し何とか…という気持ちはいっぱいありますので、期待ください。